株式会社
三誠AIR断震システム

2023年2月28日号

AIR断震 倶楽部通信 25

世界初！空気の力で家を浮かす！揺れない家が家族を守る

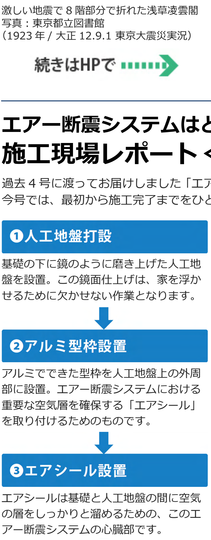
「究極の地震対策住宅」の**株式会社三誠AIR断震システム**です。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

トルコ大地震と「関東大震災」の共通点

レンガつくりの建物など脆弱な建造物の倒壊が大きな被害の原因

防災の年
関東大震災から100年
大切なものを守るために備えよう！

2 月 6 日、日本時間の 10 時 17 分頃、トルコのシリア国境付近でマグニチュード 7.8、7.5 と連続した巨大地震が発生しました。両国では、建物の崩壊と、それによる多くの死傷者が発生しましたが、犠牲になられた方々への心からのお悔やみを申し上げます。この地震は、日本で懸念されている逆断層型の海溝型地震とは異なる、内陸の横ずれ断層型地震です。2016 年の熊本地震と似た地震ですが、本震のエネルギー規模は熊本地震の 16 倍という巨大なもの。



激しい地震で 8 階部分で折れた浅草凌雲閣
写真：東京都立図書館
（1923 年 / 大正 12.9.1 東京大震災実況）

今回の被害を大きくした最大の原因は、レンガを積んだだけの脆弱な構造の建物が多いことだと言われています。100 年前の日本を襲った関東大震災でも、関東全域で全壊した建物は約 11 万棟、それによる死者数も 1 万 1000 人を超えました。1890 年に浅草に建設された「浅草凌雲閣」（高さ：67m、12 階建て、1 ～ 8 階には日本初のエレベーターを設置）も 8 階で折れるように崩れ落ちました。浅草凌雲閣は 10 階まではレンガ造りでその上は木造でした。横浜でも、横浜地方裁判所など多くのレンガ造りの建物が崩壊しました。
日本では、このような大地震を契機として建築基準法が改正され、地震に強い街づくりが進められてきた歴史があります。

続きはHPで

詳しくはHPへ ▶

エアー断震システムはどのように設置するのか？
施工現場レポート＜総集編＞

過去 4 号に渡ってお届けしました「エアー断震システム施工現場レポート」ですが、今号では、最初から施工完了までをひと目でわかるようにまとめました。

❶人工地盤打設

基礎の下に鏡のように磨き上げた人工地盤を設置。この鏡面仕上げは、家を浮かせるために欠かせない作業となります。

鏡面仕上げ

❷アルミ型枠設置

アルミでできた型枠を人工地盤上の外周部に設置。エアー断震システムにおける重要な空気層を確保する「エアシール」を取り付けるためのものです。

アルミ型枠設置

❸エアシール設置

エアシールは基礎と人工地盤の間に空気の層をしっかりと溜めるための、このエアー断震システムの心臓部です。

エアシールの設置

❹エアータンク設置

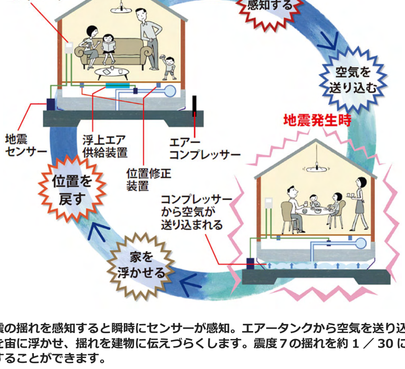
地震を感知すると、即座に空気を送り込むためのエアータンクです。標準的な住宅を浮上させるには 450 ℓ のエアータンク 2 本が必要です。

エアータンク設置

施工現場の詳細はHPへ

詳しくはHPへ ▶

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！
「エアー断震システム」



地震の揺れを感知すると瞬時にセンサーが感知。エアータンクから空気を送り込み、家を宙に浮かせ、揺れを建物に伝えづらくします。震度 7 の揺れを約 1 ／ 30 に軽減することができます。

「エアー断震システム」について
詳しく知りたい方はこちら ▶

詳しくはコチラ ▶

「AIR 断震倶楽部通信」
バックナンバーはこちらから ▶

詳しくはコチラ ▶

「エアー断震システム」の詳しい
資料請求はこちらまで ▶

詳しくはコチラ ▶

「エアー断震システム」の効果を
体感してみませんか。
関東で 4 カ所体験できる展示場があります。

詳しくはコチラ ▶

大臣認定取得
2019年4月3日国土交通大臣認定を
取得しました。

詳しくはコチラ ▶

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》
株式会社　三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川 1 - 6 - 1 2 M&Sビル 3 階
TEL：03-3551-0272　　FAX：03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp　https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら